

28 水と緑による快適空間づくり		
27 水と緑による快適空間づくり		
主管課名	環境部 緑と公園課	
主管課長名	大島 振一郎	
電話番号	042-481-7080	
関係課名 (組織順)	文化生涯学習課, 産業振興課, 農政課, 環境政策課, 下水道課, 都市計画課, 街づくり事業課, 道路管理課, 郷土博物館	
目的	対象	自然, 市民
	意図	自然が保全・創出される 自然との共生が図られる
施策の方向	人と自然との共生を目指すために、湧水、公園、崖線、里山などの水辺や緑地を保全し、連続性のある自然動植物の生息空間と緑豊かな美しい街並み・景観を形成する快適な空間づくりに取り組みます。	

< 施策と関連するSDGsの目標（ゴール） >



1 後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の振り返り — 取組実績（DO）

◆ 令和4年度における取組実績の振り返り

施策の成果向上に向けた主な取組実績 【前期基本計画（令和5年度～令和8年度）の基本的取組毎に記載】 施策における2つのアクション（①横断的連携による施策の推進 ②調布のまちの魅力発信）	
<p><b>（28-1 水と緑の保全）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「調布市緑の基本計画」に基づき、「深大寺元町特別緑地保全地区」保管理計画の策定を目的とした現況調査を実施するとともに、花いっぱい運動など市民との協働による緑化推進と保全に取り組んだ。</li> <li>公遊園施設（遊具等）の経年劣化に対応し、市民が安全で安心して憩うことができる場としていくため、公遊園施設長寿命化計画に基づく計画的な維持保全に向けた設計・工事を実施した。</li> <li>緑地等の保全・管理に向けた調査を実施するほか、公園等の樹木診断を行うなど、市民の安全・安心な憩いの場と緑の確保に努めた。</li> </ul>	<p><b>①横断的連携による施策の推進</b></p> <p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和2年度に策定した「調布市緑の基本計画」について、庁内関係各課と連携し、確実な進行を図った。</li> </ul> <p><b>②調布のまちの魅力発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調布・西調布・飛田給の駅前や市内各地で市民や事業者との協働による花いっぱい運動を引き続き推進した。</li> </ul>
<p><b>（28-2 水と緑の創出）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道敷地公園の映画ゾーンの設えについて、段階的な整備を進めた。</li> <li>平成30年度に策定した多摩川市民広場周辺実施区域機能再編整備プランに基づき、実施区域内の公園等へのベンチや健康遊具等の設置を行った。また、凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺実施区域の機能再編を進めるため、市民との意見交換会を開催し、機能再編整備プランを策定した。</li> </ul>	<p><b>①横断的連携による施策の推進</b></p> <p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>鉄道敷地整備計画に基づき、関係各課と連携し、(仮称)鉄道敷地公園（相模原線）の映画ゾーンの設えについて検討した結果を踏まえ、鉄道敷地公園の映画ゾーンのイメージアップを図るための工事を段階的に実施した。</li> </ul> <p><b>②調布のまちの魅力発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺区域機能再編整備プラン」を策定した。</li> </ul>
<p><b>（28-3 深大寺・佐須地域の里山環境の保全・活用の推進）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「深大寺・佐須地域農業公園」の令和6年度の開園に向けて、試行的な事業実施、管理運営をはじめ、農業公園管理棟等の整備工事に向けた実施設計を行った。</li> </ul>	<p><b>①横断的連携による施策の推進</b></p> <p>■連携テーマ2「にぎわいとるおいのあるまちづくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該地域で、生産緑地の買取り申出によって公有化した土地を活用し、里山や農に触れ合える体験型の環境学習・環境教育の場として活用した。特に、水田として活用している場所は、市立柏野小学校や近隣の私立学校の児童及びその保護者、教員、近隣市民等の多くの方々が、田植えや稲刈りを行い、収穫したお米を給食に提供するなどの取組を行った。</li> </ul> <p><b>②調布のまちの魅力発信</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>里山や公有化した土地を活用して、体験型の環境学習を実施するなど、市民団体やNPO法人等との協働により、都市農地を含む里山環境の保全意識を醸成する取組を推進した。</li> </ul>

## ◆ (参考) 令和元年度～令和3年度における施策の成果向上に向けた主な取組実績

<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道敷地整備計画に基づく(仮称)鉄道敷地公園の整備</li> <li>・調布市緑の基本計画策定</li> <li>・公園・緑地機能再編整備指針に基づく多摩川市民広場周辺実施区域の多摩川市民広場の整備</li> <li>・鬼太郎ひろばのトイレ・河童の三平池の整備</li> <li>・深大寺・佐須地域農業公園の整備</li> <li>・崖線樹林地等の保全管理計画策定(みんなの森特別緑地保全地区)</li> </ul>
<p>施策における2つのアクション(◎横断的連携による施策の推進 ◎調布のまちの魅力発信)の視点に基づく主な取組実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「緑の基本計画」の検討では、庁内組織である緑の基本計画策定推進連絡会を組織し、連携を図った。また、「緑の基本計画年次報告書(令和2年度版)」を庁内関係各課と連携して作成した。</li> <li>・深大寺自然広場の保全管理計画の策定に向け、調査・検討を進めた。</li> <li>・鉄道敷地公園(相模原線)内での暫定開放による市民アンケート調査や整備に向けた市民との意見交換会の結果を整備に反映した。</li> <li>・「鬼太郎ひろば」の開園に伴い、オープニングセレモニーを開催したほか、市報・市ホームページ等で周知し、「水木マンガの生まれた街 調布」の魅力を発信した。</li> <li>・東京2020大会の開催に合わせて、調布・西調布・飛田給駅前において、おもてなしガーデンを展開した。</li> <li>・鉄道敷地整備計画に基づき、関係各課と連携し、(仮称)鉄道敷地公園(相模原線)の映画ゾーンの設えについて検討した。</li> </ul>

## ◆ まちづくり指標の現状把握

まちづくり指標	単位	実績値				目標値	指標の推移*
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和4年度
1 公共が保全する緑の面積	ha	149.29	149.42	149.40	149.78	149.7	◎
2 市民一人当たりの公園面積	m <sup>2</sup>	5.45	5.44	5.44	5.42	5.50以上	▼
3 区域での環境学習の延べ参加人数	人	6,455	6,704	10,046	8,513	6,300	◎

※令和4年度における指標の推移は、以下の区分により記号を記入

◎：目標値を達成 ○：目標値を未達成(前年度より向上した) ▼：目標値を未達成(前年度より低下した) ⇒：目標値を未達成(前年度と同じ)  
 -：数値未把握(調査未実施など)

## ◆ 指標でみる後期基本計画期間内(令和元年度～令和4年度)の達成状況

各指標の達成状況及び説明	
No.	指標名
説明(目標達成・未達成の要因、課題、今後の取組の方向等)	
1	公共が保全する緑の面積
<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発等により保全地区の面積の減少が進行する一方で、生産緑地の買収、開発行為に伴う提供公園等、目標値には届かないものの、緑の面積は逡増ながら増加基調の推移となった。</li> </ul>	
2	市民一人当たりの公園面積
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内への流入人口等の増加により、増加傾向にある人口推移の一方、公遊園等の面積では、逡増となる。</li> <li>・人口の伸び率が公園等面積の増加を上回った結果、一人当たりの公園面積は減少傾向にある。</li> <li>・令和元年度から4年度まで、公遊園面積は増加しており、目標値には至らないものの、緑化面積としては上昇傾向にある。</li> </ul>	
3	区域での環境学習の延べ参加人数
<ul style="list-style-type: none"> <li>・野草園への安定した入園者数があった。</li> <li>・深大寺・佐須の公有地(水田・畑)の耕作・稲作体験の参加者の増加</li> </ul>	

《参考》前期基本計画（令和5年度～令和8年度）における「まちづくり指標」

まちづくり指標	まちづくり指標の考え方	単位	基準値	目標値
公共が保全する緑の面積	地域制緑地制度の活用や公有化などにより、公共が保全する緑の面積を現状以上とすることを目標とした。 ※1 目標値は、調布市緑の基本計画における令和22（2040）年度の目標値です。	ha	149.40 令和3年度	163※1 令和22（2040）年度
市民一人当たりの公園面積	人口増を踏まえ、公園の総面積の増加を目指しながら、市民一人当たりの公園面積は現状維持を目標とした。 ※算出式は、（当該年度末（3月31日）現在の公園整備面積）÷（翌年度4月1日現在の人口）	m <sup>2</sup>	5.44 令和3年度	5.44 令和8（2026）年度
公園面積	既存の都市公園や借地公園等を集計した公園面積について、借地公園の公有地化により現在の水準を確保することを目標とした。	ha	147.8 令和3年度	147.8 令和8（2026）年度

2 令和4年度の振り返り及び後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の取組状況 — 評価（CHECK）

◆ 施策の成果向上に向けて、令和4年度及び後期基本計画（令和元年度～令和4年度）に実施した取組に対する評価

総合評価 (令和4年度)	A	S：「実施した取組において顕著な取組成果が得られた。」 A：「実施した取組において予定した取組成果が得られた。」 B：「実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。」 C：「実施した取組においてあまり成果が得られなかった。」 D：「実施した取組において成果が得られなかった。」
総合評価理由	令和4年度における施策の成果についての総括（総合評価の理由） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用事業用地を取得した。</li> <li>・ 公園施設長寿命化計画に基づく遊具の更新（6箇所8基）を行った。</li> <li>・ 深大寺元町特別緑地保全地区の保全管理計画に向けた現況調査を実施した。</li> <li>・ 土砂災害警戒区域等における崖線樹林地等調査を実施した。</li> <li>・ 花いっぱい運動事業の検討を行った。</li> <li>・ 公遊園等樹木調査等を実施した。</li> <li>・ 市民との協働による保全への取組を推進した。</li> <li>・ 凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺区域機能再編整備プランを策定した。</li> </ul>	
総括評価 (令和元年度から令和4年度)	A	S：「計画期間中に実施した取組において顕著な取組成果が得られた。」 A：「計画期間中に実施した取組において予定した取組成果が得られた。」 B：「計画期間中に実施した取組において一定程度の取組成果が得られた。」 C：「計画期間中に実施した取組においてあまり取組成果が得られなかった。」 D：「計画期間中に実施した取組において成果が得られなかった。」
総括評価理由	後期基本計画（令和元年度～令和4年度）における施策の成果についての総括（総括評価の理由）／今後に向けた課題・懸案事項 （総括） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公遊園の長寿命化に向けた計画的更新に加え、公園、緑地への多様化するニーズに対応するため、平成27年4月に作成した「調布市公園・緑地機能再編指針」に基づき、公園利用者等へのアンケート実施や説明会等、協働の観点から公園施設の機能再編整備を推進した。</li> <li>・ 鉄道敷地整備計画に基づき、（仮称）鉄道敷地公園の整備を推進した。</li> <li>・ 庁内組織である緑の基本計画策定推進連絡会を組織し連携を図りながら、令和3年3月に「調布市緑の基本計画」を策定した。</li> <li>・ 深大寺・佐須地域農業公園の整備、令和4年度に暫定開園した。</li> <li>・ 緑の保全を図るため、令和2・3年度に市民等との意見交換を重ね、令和4年3月に崖線樹林地等の保全管理計画を策定した（みんなの森特別緑地保全地区）。</li> <li>・ 1年延期となった東京2020大会の開催に合わせて調布・西調布・飛田給の駅前で市民サポーターとの協働によるおもてなしガーデンを展開した。</li> <li>・ 市内の地域グループが実施する花いっぱい運動への継続した取組を実施した。</li> </ul> （課題・懸案事項） <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「緑の基本計画」に基づく緑施策の総合的な取組を推進するとともに、土砂災害警戒区域等における崖線樹林地等について新たな管理計画を進める必要がある。</li> <li>・ 現在設置されている公園は、施設全体として老朽化が進んでいるため、「公園施設長寿命化計画」に基づく施設（遊具）の更新や補修工事が必要である。</li> <li>・ 市民や事業者との協働による花いっぱい運動の市全体への定着に向け、花いっぱい運動の担い手となるボランティアの確保・育成が必要である。</li> </ul>	

### 3 中長期的な施策の方向（2030年代を見据えた方向） — (ACTION)

#### ◆施策を取り巻く状況（国、東京都・近隣自治体の動向など）を踏まえた取組の方向

・右欄は左欄に対応する丸数字を記載

	市政に与える影響	左記を踏まえた市の対応課題・取組の方向
全国的な潮流・傾向等	<p>①国においては、都市緑地法等6つの法律（都市緑地法、都市公園法、生産緑地法、都市計画法、建築基準法、都市開発資金の貸付けに関する法律）を平成29年5月に一部改正し、緑豊かで魅力的なまちづくりを実現するため、地方公共団体に、地域の公園緑地政策全体のマスタープランの充実が求められている。</p> <p>②国は今後見直しが予定されている国際目標を踏まえて、生物多様性基本法に基づく、新たな「生物多様性国家戦略」の策定に向けて検討を進めている。</p>	<p>①国の法改正の趣旨を踏まえた新たな「調布市緑の基本計画」を令和3年3月に策定しており、計画に基づく施策の推進が必要。</p> <p>②④調布市の特性を踏まえ、緑の保全・創出、多様な主体との連携等の考え方を取り入れた「生物多様性地域戦略」の策定を検討する。</p> <p>③東京都と都内自治体で、方針に沿った取組が進められており、調布市としても実現に向けた具体策の検討が必要。また、確保候補地への追加についても検討する。</p>
東京都や近隣自治体の動向等	<p>③東京都と市区町村が合同で策定した「緑確保の総合的な方針（改定）」、「都市計画公園・緑地の整備方針（令和2年7月改定）」に基づく取組が進められている。</p> <p>④国の「生物多様性国家戦略」の改定に併せて、東京都も「生物多様性地域戦略」の改定作業を進めている。</p>	
その他		

#### ◆前期基本計画期間（令和5年度～令和8年度）における中長期的な取組の方向

<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然豊かな都市環境の保全（地域制緑地制度等を活用した取組の推進、崖線樹林地の保安全管理計画の策定等）</li> <li>・公園、緑地、崖線樹林地、農地などを含む緑の保全に関する取組の推進</li> <li>・老朽化した公園の施設の計画的な更新</li> <li>・地域ニーズを踏まえた公園、緑地の整備</li> <li>・公園トイレの計画的な更新</li> <li>・自然環境が有する機能を活用して、多様な効果を得るグリーンインフラの考え方を取り入れた取組の推進</li> </ul>	
<p>施策の推進、成果向上の視点を踏まえた具体的な取組</p>	
デジタル技術の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公遊園、緑道等における施設の破損や枯れ枝、危険箇所等の通報システム検討</li> <li>・崖線団体等との連携による合同勉強会や意見交換会等のオンライン配信等実施検討</li> <li>・公園遊具の意見聴取、アンケート等の実施におけるLOGOフォームの活用</li> </ul>
共創のまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会、子ども会などの市民団体等との協働による公園等の清掃活動を実施。</li> <li>・ワークショップに参加した市民との協働による緑地、崖線樹林地の保全活動を推進</li> <li>・自治会や市民グループとの協働による地域の緑化を推進する「花いっぱい運動」の実施</li> <li>・利用者、近隣住民等との公園整備における利用ルール作りの協働推進</li> </ul>
脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地球温暖化による気候変動への対応、自然環境を支える緑を守る取組として、緑化推進、崖線樹林地等の保全、公園の整備を実施</li> </ul>
フェーズフリー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害時における市民の避難スペースとしての視点や、水害、激甚災害時等の公園施設の役割、活用検討等、グリーンインフラの考え方を取り入れた公遊園の整備</li> <li>・崖線樹林地の機能を保全しながら、土砂災害警戒区域への対策を講ずることを検討。※レッドゾーン対応検討</li> </ul>

施策28「水と緑による快適空間づくり」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	91	重点P	⑤	人と自然がおりなすうるおいあるまち	総合戦略	●
	事務事業	公園・緑地、崖線樹林地の保全					
後期※	計画コード	88	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち	総合戦略	●
	事務事業	公園・緑地、崖線樹林地の保全					
所管部署 環境部 緑と公園課 みどりの推進係・管理係							
<b>事業概要</b> 地域の緑をまもり・つくり・そだてるため、市民・事業者・行政が協働し、推進する「緑の基本計画」に基づき、崖線樹林地等の保全を推進し、崖線樹林地等における市民団体による保全活動に対して、支援の充実を図る。市民協働の一環として、市民グループによる公園清掃協力等を推進するほか、樹木せん定入門講座等の市民向けの講座の実施を通じて、市民活動の普及啓発、参加意欲を醸成する。 ラグビーワールドカップ・東京2020大会の来訪者おもてなしの一環として開始した3駅おもてなしガーデン事業は、サポーターをはじめとした市民が主体となり、活動を持続できる仕組みづくり及び支援を行う。また、地域住民による花いっぱい運動については、3駅おもてなしガーデン事業と共に、持続可能な活動支援に向け、整備と拡充を図る。 借地公園の公有化を進める。 公園施設長寿命化計画を推進する。 公園トイレの整備・改築を推進する。							

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

【PLAN▶DO▶CHECK】

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
○安全で快適な公園・緑地、崖線樹林地の維持保全 ・みどり率34.1%の維持	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地の保全に関する調査検討（若葉町・入間町）  ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画に基づく取組 ○実篤公園の保全管理に関する調査検討（実施設計）	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保全管理計画策定に向けた調査検討（深大寺元町特別緑地保全地区） ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく公園の改修工事 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画に基づく取組 ○樹木の健全度調査 ○土砂災害警戒区域等と重複する崖線樹林地等の保全管理計画（案）の検討 ○用地取得1箇所（深大寺南町）	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保全管理計画策定に向けた調査（深大寺元町特別緑地保全地区） ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく遊具の更新 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画に基づく取組（設計） ○樹木の健全度調査 ○土砂災害警戒区域等と重複する崖線樹林地等の保全管理計画（案）の調査 ○用地取得2箇所（深大寺南町）	○市民との協働による保全 ○崖線樹林地等の保全管理計画策定に向けた調査（深大寺元町特別緑地保全地区） ○花いっぱい運動の推進 ○公園施設長寿命化計画に基づく遊具の更新 ○公園・公衆トイレ整備・改修計画に基づく取組（設計） ○樹木の健全度調査 ○土砂災害警戒区域等と重複する崖線樹林地等の保全管理計画（案）の調査 ○用地取得2箇所（深大寺南町）
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0

令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり	<input type="checkbox"/> 計画遅れ	<input type="checkbox"/> 計画前倒し	実績評価	◎
説明	崖線緑地等の維持保全や活用について、協働による取組を進めた。 調布・西調布・飛田給の駅前で市民協働で花いっぱい運動（おもてなしガーデン）を展開し、緑と花で来訪者を迎えた。また、公園等の花壇を利用して実施している地域グループの花いっぱい運動については、市内全域で67団体が活動を行った。 公園施設長寿命化計画に基づいた遊具の更新を実施した。（6公遊園において8基更新）				

【ACTION】

今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続	<input type="checkbox"/> 有効性改善	<input type="checkbox"/> 効率性改善	<input type="checkbox"/> 財政面改善	<input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
今後の取組の方向	市民との協働による崖線樹林地の保全や花いっぱい運動など協働による緑のまちづくりの推進のほか、公園施設長寿命化計画に基づく遊具の更新やその他公園施設の補修工事等の緑と公園の質の向上と適正管理など、緑の基本計画に基づく各種緑施策を推進する。				

施策28 「水と緑による快適空間づくり」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	92	重点P	⑤	人と自然がおりなすうるおいあるまち	総合戦略	●
	事務事業	公園・緑地等の整備					
後期※	計画コード	89	重点P	⑤	人と自然が共生するうるおいのあるまち	総合戦略	●
	事務事業	公園・緑地等の整備					
所管部署 環境部 緑と公園課 管理係							
<p>事業概要</p> <p>緑の基本計画に基づき、公遊園等の不足地域の解消を図るなど整備を行う。          新たな公園の整備や公園・緑地機能再編整備プランに基づく整備を行うに当たっては、設計段階からワークショップなど市民参加方式を取り入れることにより、地域のコミュニティの核となる空間として、親しみのある利用しやすい施設として整備する。          崖線樹林地の活用・保全のための必要な整備を行う。</p>							

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

**[PLAN▶DO▶CHECK]**

活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
	○計画終了年次における調布市緑の基本計画の目標の達成 ・市民一人当たり5.5㎡の公園面積の確保 ・公園不足地域の解消	○調布基地跡地留保地スポーツ・防災公園（協議・調整） ○多摩川市民広場周辺区域整備工事  ○凸凹山児童公園及び若宮自然広場等実施設計	○鉄道敷地公園（映画ゾーン整備）  ○多摩川市民広場周辺区域整備工事 ○中央自動車道占用物件除却工事 ○凸凹山児童公園及び若宮自然広場等機能再編整備プラン ○多摩川市民広場周辺区域実施設計	○多摩川市民広場周辺区域整備工事  ○凸凹山児童公園及び若宮自然広場等機能再編整備プラン  ○凸凹山児童公園用地取得（土地開発公社による先行取得）
		事業費（千円）	50,000	155,980
	債務負担行為等による用地取得費	0	0	135,879

令和4年度取組実績	<input type="checkbox"/> 計画どおり	<input checked="" type="checkbox"/> 計画遅れ	<input type="checkbox"/> 計画前倒し	実績評価	○
-----------	--------------------------------	--	--------------------------------	------	---

説明	<p>「多摩川市民広場改修と周辺地区の機能再編整備プラン」に基づき、対象区域公園にベンチや健康遊具等の設置のほか舗装補修を行った。                  凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺実施区域の機能再編を進めるため、意見交換会等を開催し機能再編整備プランを策定した。                  鉄道敷地公園については、公園内に設置する工作物の著作権の調整確認に時間を要したため、次年度への繰越となった。</p>
----	---

**[ACTION]**

今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善
-------	---

今後の取組の方向	<p>緑の基本計画に基づき、引き続き、緑と公園の質の向上と適切な管理を推進していく。                  凸凹山児童公園及び若宮自然広場周辺実施区域の機能再編プランに基づき測量、実施設計を行い機能再編整備を継続していく。                  鉄道敷地公園については、昨年度に引き続き公園内への映画の設えを行うため、モニュメント等の設置を行い令和5年度内に完了。</p>
----------	--

施策28「水と緑による快適空間づくり」に関連する基本計画事業

前期※	計画コード	93	重点P	⑤	人と自然がおりなすうのおいあるまち		
	事業事業	深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用				総合戦略	●
後期※	計画コード	90	重点P	⑤	人と自然が共生するうのおいのあるまち		
	事業事業	深大寺・佐須地域の里山、水辺環境の保全・活用				総合戦略	●
所管部署		環境部 環境政策課 環境政策係					
事業概要		平成26年3月策定の「調布市深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画」に基づき、里山の風景が残る地域の自然環境の保全・活用に向けた取組を進める。深大寺・佐須地域農業公園の運営、里山や公有化した土地を活用して、自然体験型の環境学習を実施するなど、都市農地を含む里山環境の保全意識を醸成する取組を市民団体やNPO法人等との協働により推進する。					

※前期の欄には、前期基本計画（令和5年度～令和8年度）、後期の欄には後期基本計画（令和元年度～令和4年度）の内容を表記しています。

<b>【PLAN▶DO▶CHECK】</b>				
活動内容（事業費ベース）	計画目標	令和4年度		
		（計画）	（当初予算）	（決算・実績）
	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・事業実施のための調査・検討 ・事業の推進 ・緑地の確保 ・庁内連携	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・公有化した土地の活用の事業実施 ・農地周辺の環境整備等に係る協働事業及び地域での環境学習事業の確立 ・地域での環境事業の試行と確立後の事業実施 ・水路周辺の生物・水質調査の実施 ○佐須農の家の管理・運営	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・深大寺自然広場や公有化土地を活用した環境学習・環境教育の実施 ・深大寺・佐須地域農業公園の暫定開園に伴う施設運営 ・深大寺・佐須地域農業公園内の管理棟等の建築設計 ・佐須の用水路の水質・水生生物調査の実施 ○佐須農の家の管理・運営	○深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画の推進 ・深大寺自然広場や公有化土地を活用した環境学習・環境教育の実施 ・深大寺・佐須地域農業公園の暫定開園に伴う施設運営 ・深大寺・佐須地域農業公園内の管理棟等の建築設計 ・佐須の用水路の水質・水生生物調査の実施 ○佐須農の家の管理・運営
事業費（千円）		18,491	20,552	16,601
債務負担行為等による用地取得費		0	0	0
令和4年度取組実績	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画遅れ <input type="checkbox"/> 計画前倒し			実績評価 <input checked="" type="radio"/>
説明	<p>地域の豊かな環境を調布の財産として将来世代に引き継いでいくため、都市農地が残る里山の風景の保全に向けて、令和2年7月に東京都の「農の風景育成地区」に都内5地区目として指定され、東京都と連携した取組を強化している。</p> <p>令和4年度は、環境活動の担い手の育成や市民の環境保全意識の啓発を図るため、「雑木林ボランティア講座」や「こどもエコクラブ」等の自然体験型の環境学習事業を実施したほか、当該地域で生産緑地の買取り申出によって公有化した土地（水田・畑）を活用し、近隣学校の児童や市民等の多くの方々に耕作・稲作体験の機会を設けるなど、NPO法人との協働で様々な環境啓発事業を実施した。なお、収穫したお米や野菜は学校給食やフードバンク調布、子ども食堂への提供などを行った。また、新たに買取り申出があった生産緑地の公有化を行った。その他、地域の環境活動を支援する施設である「調布市佐須農の家」の管理・運用を行った（貸出件数：延べ19件、利用者数：延べ156人）。</p> <p>また、緑と公園課では令和4年度に深大寺・佐須地域農業公園内の管理棟等の建築設計を行った。</p>			
<b>▼</b>				
<b>【ACTION】</b>				
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 市民参加と協働の取組改善			
今後の取組の方向	<p>深大寺・佐須地域環境資源保全・活用基本計画及び深大寺・佐須地域農の風景育成地区に位置付けた施策・事業に基づき、貴重な里山環境が残る地域の環境資源の保全・活用に向けて、地元農家の意向を尊重しながら様々な事業を推進していく。</p> <p>令和5年度は、引き続き市民団体やNPO法人等との協働により、里山や公有化した土地を活用した自然体験型の環境学習を推進するほか、深大寺・佐須地域農業公園の開園に向けた取組を進めるなど、里山の風景を継承する取組を推進する。</p> <p>また、「調布市佐須農の家」を拠点として、里山環境保全の大切さを啓発する事業や環境学習事業などを実施することにより、生物多様性の視点を含めた地域の貴重な環境資源に対する保全意識を醸成する環境づくりに取り組む。</p> <p>深大寺・佐須地域農業公園については、令和5年度に管理棟やトイレ等の建築工事を行い、令和6年度開園予定。</p>			